

学 校 教 育 目 標	心もからだも健康な子
目 指 す 学 校 像	大宮南小学校で学ばせたいとの期待と信頼に応えられる学校
重 点 目 標	1カリキュラム・マネジメントの充実、さいたま市スマートスクールプロジェクト(SSSP)の推進 2教育相談体制の充実、危機対応発生時等の関係者会議の確実な実施、 3学校運営協議会やPTAと連携を強化した地域とともにある学校づくりの実現 4安心・安全な教育環境と施設の有効活用 5報告・連絡・相談が躊躇なくできる風通しのよい職場づくりの実現

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成（8割以上）
成	B	概ね達成（6割以上）
度	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	学びの質の向上に関する取組 <現状> ○全国学力学習状況調査、さいたま市学習状況調査ともに、概ね良好な結果である。また、無回答率が低い。 ○日頃の学習の様子から、タブレット端末を活用し、自分の意見を発信したり、友達の意見を閲覧したりすることに意欲的に取り組んでいる。 <課題> ○全国学力学習状況調査、さいたま市学習状況調査ともに個人差が大きい。 ○タブレット端末の利用は進んでいるが、教員による利用の格差がある。	○カリキュラム・マネジメントの視点に立った授業改善	①行事との関連、地域人材の活用、ICT（ドリームパーク、スクールデジタルショールーム等での個別最適化した学習、オンライン・ムーブノートでの協働的・探究的な学習の実施）の活用等、学校課題研究を核とした教科横断的な視点に立った年間指導計画の評価、改善	①学びの指標児童アンケートにおいて「探究的な学び」評価項目における肯定的な回答の上昇					
		○さいたま市スマートスクールプロジェクト（SSSP）を活用した授業実践	①学校課題研究を通して、図書館資料、タブレット端末等を有効活用した探究的な学び、教科横断的な学びの実践	①学びの指標児童アンケートにおいて「ICTの効果的な活用」評価項目における肯定的な回答の上昇					
2	子どもの発達や心のサポートに関する取組 <現状> ○R6 学校評価（児童用）において、学校生活の充実に関する項目で、肯定的な回答が90%以上であった。 <課題> ○R6 学校評価アンケート：あいさつに関する児童、教職員、保護者や地域の方々の肯定的評価が平均70%という結果であった。	○爽やかなあいさつの励行	①あいさつ運動の実施等、各教員のあいさつに係る取組の実施、挨拶励行の呼びかけ（講話朝会10回）、自作のあいさつマスターカードの配付	①児童の爽やかなあいさつが飛び交う学校の実現（学校評価アンケート児童、保護者、教職員、地域R6：70%→R7：80%）					
		○児童一人ひとりへの細やかな教育相談体制の充実	①定期的な生徒指導・教育相談・特別支援教育委員会の開催	①学校評価アンケートの関連項目で肯定的な回答の割合が90%以上					
3	地域とともにある学校づくりに関する取組 <現状> ○昨年度まで学校運営協議会において「子ども達の安全な登下校について」学校・家庭・地域の役割について熟議を重ねてきた。 ○HPのブログで、ほぼ毎日児童の様子を配信している。 <課題> ○目指す子ども像に向けて、学校・家庭・地域の役割分担を明確にする必要がある。	○学校運営協議会の充実	①学校運営協議会での熟議（目標の共有及び施策の役割分担、連携の仕方、学校課題の共有と解決に向けた方策、令和7年度の学校経営方針の承認等）の実施	①学校運営協議会委員へのアンケート該当項目において肯定的な回答の割合が90%以上					
		○地域とともにある学校づくりの推進	①他校運動場での全校児童による運動会等の実施、スクールロイヤー、ゴミスクール、助産師による命の安全教育等の保護者への積極的な公開、学習支援ボランティアの募集	①学校評価アンケート（保護者）の関連項目の肯定的評価85%以上					
4	教育環境の整備に関する取組 <現状> ○仮設校舎2棟の建設により、特別教室等の利活用について、検討が必要である。 <課題> ○児童数の急激な増加に伴い、教室配置を大きく変更した。特別教室をはじめ、児童が学習しやすい環境を整備することが急務である。	○安全・安心な教育環境の整備	①毎月の安全点検及び管理職による日常点検の実施による施設の安全管理の徹底と修繕個所の早期発見と早期対応	①毎月の安全点検の確実な実施と修繕個所の把握と計画的な修繕の実施					
		○施設の有効活用	①校舎増設に係る特別教室の整備と不要物の撤去及び廃棄、職員室の整備；フリーアドレス化	①特別教室等の整備（solaルーム、職員室含め3つ以上）					
5	教職員のキャリア形成に関する取組 <現状> ○高学年教科担任制により、担当教科において教材研究を深く行うことができています。 ○R6教員等の意識調査では、100%の教員が仕事にやりがいや満足感をもっている。そのうち、88%の教員が負担感や多忙感を感じている。 <課題> ○教員経験年数が様々なため、一人ひとりの教職員の資質・能力の向上を図ることが必要である。 ○時間外在校時間の個人差が大きい。業務改善に向けた組織的な取組が必要である。	○教育の質の向上	①教職員の専門性向上を図るため、指導者を招聘した研修会や管理職による教室訪問の実施 ②各校務分掌等の提案・運営・実施時の工夫・改善	①指導者を招いた授業研究会、研修会を年間5回以上実施 ②教育の質の向上に向けた行事等の工夫・改善（5つ以上）					
		○質的な働き方改革の推進	①学校課題研究を活用し、働き方改革に向けた方策の立案	①働き方の改善が実感できる状態を実現（教員アンケート：働き方の意識調査の向上）					

